

# アジア諸国の教会史 <日本編>

特別講義 2018年5月よりスタート  
(木曜日 18:30~20:00 全3回)

## 日本の歴史に光る信仰の遺産と希望

日程	時間	内容	担当（プロフィール）
5/3 Or 5/4	10:30- 17:00	開港と共にやって来た宣教師たち	慶徳正好氏：元・横浜市立小学校長，横浜市歴史博物館エデュケーター，博物館デビュー支援事業専門調査員，JECA横浜キリスト福音教会員
6/21	18:30- 20:00	これからの日本に求められる神学と思想	山口陽一氏：東京基督教大学で、日本キリスト教史、説教学、歴史学を担当、東京基督教大学学長。著書：「なぜ「秘密法」に反対か～開かれた平和な国のために祈りつつ」「復刻・日本基督一致教会信仰の箇条」など。
6/28	18:30- 20:00	これからの日本に求められる教会の実践	

**お茶の水クリスチャンセンター 416号室 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル**

- ・講義の進め方：講義とフィールドワーク（コーディネーターの福井誠が進行を務めます）
- ・受講料：部分参加（1回）2,000円、全参加（3回）5,000円（5/3or4の昼食は別途個人負担になります。）
- ・対象：一般信徒、教会役員、牧師、伝道師、教派・団体実務担当者および役員
- ・その他：学院生で、アジア宣教史（前期全15回）の講座に登録され（福井誠担当分全10回）に引き続いて受講された方には、2単位が認められます。
- ・申込用紙：裏面（FAX:03-3296-4641, TEL:03-3296-1005, email: [office@obi-net.com](mailto:office@obi-net.com)）
- ・定員になり次第、締め切りにいたします。

アジア宣教史は、日本のキリスト教宣教をアジアの文脈の中で捉えながら考えていく講座であり、四つのモジュール（学習単位）と複数講師による多眼的な学習を目指します。前期は日本編、日本のキリスト教宣教の歴史について振り返り、その課題、展望についての理解を深めます。第2モジュールの特別講座は、山口陽一師による講義および、慶徳正好氏によるフィールドワーク（史跡訪問研修）となります。フィールドワークは、5月3日を予定しますが、雨天の場合は、4日順延となります。なお、福井誠担当分（10回）は、ザビエルの宣教から戦後の諸教派・団体の宣教の展開に至るまでの歴史を学び、また参加者の教会のルーツを学び合い、特別講座においてこれからの日本の教会の進むべき道について総括的な理解を深めます。

<フィールドワーク：慶徳正好氏内容>

午前：旧東海道沿い（宣教師とゆかりのある成仏寺・宗興寺・本覚寺など史跡見学）

午後：横浜海岸教会、横浜開港資料館見学及び講義（ヘボン・バラ・ブラウンの記録物（参考文献を含む）を手掛かりに、幕末明治期の日本宣教に果たした彼らの役割と、彼らの影響を受けた代表的な日本人についてお話しします。